



須坂市立小山小学校だより

平成 28 年 12 月 14 日

# 栃の子だより

No.14

あいさつ いのち うんどう・うたごえ えがお おもいやり

文責：寺島 寿一

11 月は、PTA の皆様のご協力により、大きな行事を無事終えることができました。

## PTA 音楽祭

11 月 5 日(土)12:00 より、須坂市メセナホールにおいて PTA 音楽祭が行われました。今年より各校 5 分以内 1 曲の発表となり、時間短縮により開会式から閉会式まで多くの参加者が会場に残る形となりました。

小山小学校は、「みんながみんな英雄」を田幸先生の指揮で気持ち良く歌うことができました。

須坂市教育長の小林雅彦先生からは、「楽しい合唱でした！ハーモニーが充実していて、しかもリズム感にあふれていました。何よりも皆さんの表情が素晴らしい。指揮の指示がとてもわかりやすく、それに合唱がしっかり応えていく。素晴らしい合唱でした。こういう曲は、もっともっと PTA コーラスのレパトリーとして定着してほしいなあと思いました。笑顔あふれる合唱って、やっぱりこちらも元気が出ますね」というご講評をいただきました。

練習の時から、田幸先生より「眼を大きく、口を縦に開けて、笑顔で」とご指導をいただいた成果が出たと思います。



## PTA 講演会

11 月 24 日(木) 11 月としては珍しい積雪に見舞われましたが、PTA 講演会が行われました。

今年は、SBC ラジオのパーソナリティとして活躍される広沢里枝子さんをお招きして、「見ないことってどんなこと？」という演題で、4 年生以上の子どもたちと保護者に対して講演をしていただきました。

現在のお仕事のことや盲導犬の紹介、自分の子どもの言葉を書き留めたアルバム(詩)の紹介や子育て・家事でのエピソードなどお話ししていただきました。また、具体的な場面での目の不自由な方に対する対応について子どもたちと共に演じたり、目の不自由な方への理解を深めるクイズや説明をしたりして子どもたちの興味を引き付けていました。

子どもたちから「暇なときは何をしていますか」「交通事故にあったことはありますか」「料理でやけどしたことはありますか」といった質問が出され、広沢さんからは「三味線を弾いていること」や「発進音のしない車の危険性」「説明書が点字で書かれていないことの不便さ」等、自らの体験を話していただき、子どもたちはもちろん保護者や教職員も学ぶことができました。

児童を代表して児童会長からは「障がいは不自由ではあるが、不幸ではない」「自分をあきらめない」という言葉が印象的だったというお礼の言葉がありました。

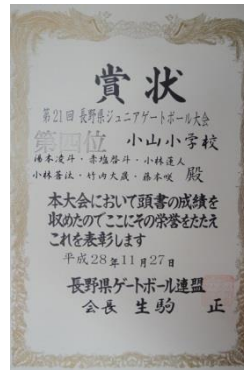


【資源回収】

保護者・地域の皆様にご協力をいただき、資源回収が10月22日(土)に行われました。開始時刻の8時頃は肌寒さを感じましたが、次々に運び込まれる新聞紙・古紙・雑誌類・アルミ缶の積み込みで、心地よい汗がにじみました。

そして、その収益金が172,200円となりました。子どもたちの教育活動などに有効に活用させていただきます。

1月の理事会において承認をいただき、今の6年生も使えるようにしていきます。



【長野県ジュニアゲートボール大会】

第21回長野県ジュニアゲートボール大会が松本市の「あずさ屋内ゲートボール場」で行われました。須坂市の大会を2位で通過した小山小学校は、初戦同じ須坂市の須坂小チームと対戦。惜しくも接戦をものにならず、なかなか波に乗れないまま参加5チーム中4位の成績で終わりました。

悔しさの中にも、県大会という大きな舞台を経験することができた子どもたち。5年生1名と4年生5名というメンバーだけに、来年以降の活躍を期待したいと思います。



保健委員会  
ペットボトルの涙



美化委員会  
モップ掛けレース

とちの子祭 11月30日



放送委員会  
イントロクイズ



緑化委員会  
花ビンゴ

防火ポスターコンクール  
佳作 六年生



市内小学生版画展  
審査員賞 六年生



市内小学生版画展  
審査員賞 一年生